



春風学級 閉級式を終えて

9月にスタートした春風学級もすべての活動を終え、2月10日（水）に閉級式を行いました。久下自治振興会から会長様、教育人権部部長様、活動推進委員様にお越しいただき、子ども達の取り組みについてのまとめや励ましのメッセージをいただきました。自治振興会から、1年間頑張ったごほうびにちーたんの絵柄のついたノートをいただきました。大事に使ってほしいです。

今年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、毎年楽しみにしていた夏祭りを実施することができなくて、とても残念でした。そのため今年度は、5年生の参加はなく6年生のみの参加となりました。しかしながら今年度も全員で参加することができ、学校の中での人権教育と春風学級での人権の学習にみんなで取り組んでいくことができました。閉級式では、春風人権発表会をやる中で感じたことはもちろん、春風学級だけではなく、学校の中での人権学習、さらには、山南町内4つの小学校で行った、6年生の人権交流会で学んだことも振り返りながら、一人一人の学びを発表しました。

児童会では、新型コロナウイルス感染症による差別をなくすための運動に賛同して、シトラスリボンプロジェクトを計画しています。その第一歩として、まずは6年生がシトラスリボンを作り今日の閉級式ではみんなが胸につけて参加しました。今後全校に広げていく予定です。

一人ひとりの発表を聞いて、人権の学習を通して、一人ひとりが心で感じ、しっかり考えたことが伝わってきました。自分の考えを人に伝え、思いを共有しました。聞き合う中で、同じ思いを持っていることを感じ取ることができたと思います。一人の思いでは変えることはできないことも、みんなの思いが集まると、社会を変えていく大きな力になることも学びました。

春風学級での学びが、子ども達の支えとなり、思いやりや優しさを周りへ少しずつ広げていくことを期待しています。これから先、その思いを行動で示していくことが大切です。そして、学び続けることの大切さを感じ取ってくれた6年生は、中学校でもこの学びを活かして生活していってくれることでしょう。

1年間、春風学級を支えて下さった自治振興会の皆さま、地域の方々、保護者の皆さま、本当にありがとうございました。